

県遺族通信

全国戦没者追悼式

～三年ぶりの参列～

終戦から七十七年となる十五日、政府主催の全国戦没者追悼式が日本武道館（東京）で開かれました。当連盟は、新型コロナウイルスの感染拡大のため参列をここ2年辞退していましたが、今年には十九人の遺族代表が参列しました。

追悼式には、天皇后陛下のご参列を仰ぎ、遺族や三権の長、各界代表ら約千人が参列。今年の遺族代表の追悼の辞は、県連盟大月理事長が述べました。岡山県の遺族が選ばれるのは、昭和五十九年の難波貞子（総社市）さん以来、三十八年ぶり二回目となります。

遺族代表「追悼の辞」全文

本日ここに、天皇后陛下下のご臨席を仰ぎ、三権の長

発行：一般財団法人
岡山県遺族連盟
(086) 271-7175
令和4年9月20日
No. 3

追悼式が厳粛に執り行われるに当たり、戦没者遺族を代表し、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

七十七年前、小学校一年生の私は、岡山県高梁市で母と姉と三人で終戦を迎えました。私の父は、男の子が生まれたら健一と名前を付けるようにと、妊娠中の母に告げて、中国に出征しました。父の戦友の話では、我が身の危険を顧みず、懸命に戦っていたようですが、心待ちにしていた私の誕生を知ることなく、帰らぬ人となってしまいました。

戦後の混乱の中で、愛する家族を失った私たち遺族は、多くの困難に直面しながらも、残された家族が身を寄せ合つて懸命に生きてまいりました。こうした中で、一家の大黒柱とならざるを得なかった私

の母は、多くの苦勞に耐えながら、私たち姉弟を頑張つて育ててくれました。母には、感謝の言葉しかありません。これは、私だけではなく、全国の多くの遺児の皆さんも同様だろうと思います。

今日の我が国は、世界有数の経済大国となり、平和と自由を享受しておりますが、これは、国の命運を決する戦いに際して、最愛の家族の安寧を願いつつ、懐かしいふるさとに思いをはせながらも、一身を顧みず、精魂込めて戦い散華された戦没者の犠牲の上に築かれているものであることを私たちは決して忘れてはなりません。

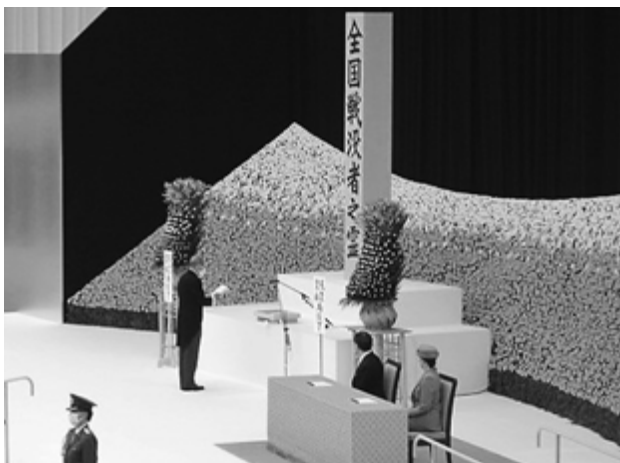
世界では、ロシアによるウクライナ侵攻など、未だ紛争は絶えず、今も私たちのような遺族が生まれ続けています。一日も早く平和な世界が実現するよう祈らずにはいられません。

ここに、私たち遺族は、戦争は遠い過去の歴史的出来事ではなく、今も身近にあることを再認識し、一般市民まで犠牲となる戦争の悲惨さと平和の尊さを語り続け、継承し

ていくことで、恒久平和の実現に向けて努力していくことを諸霊にお誓い申し上げます。本日は、コロナ禍にもかかわらず、ご来賓の参列のもと、かくも厳かに追悼式を挙行していただきまして、遺族を代表して心から感謝申し上げます。結びに、ご英霊のご冥福とご参列の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。追悼の言葉といたします。

令和四年八月十五日

全国戦没者遺族代表 大月 健一



（「追悼の辞」を述べる大月理事長）

理事会・評議員会開催

令和三年度事業報告・決算

去る六月十三日理事会、六月二十七日評議員会を開催し、令和三年度事業報告及び決算報告については、いずれも原案どおり承認されました。

令和三年度も、新型コロナウイルスの影響で、岡山県補助事業である沖縄慰霊巡拝事業や慰霊研修事業など多くの事業が中止や規模縮小を余儀なくされ、決算も当初予算を大きく下回りました。



【事業報告の概要】

1 英霊顕彰運動の推進

岡山県遺族代表者大会
令和三年十一月二十七日、岡山市市民文化ホールで、規模縮小して実施。

・全国戦没者遺族大会
十二月十三日、東京・自由民主会館ホールで開催され、当連盟から役員を派遣し、大会終了後国会陳情を行った。

・春秋の岡山県戦没者慰霊祭
五月五、六日両日は、規模を縮小して実施され、奉仕者を派遣。十月は中止となり役員のみ参列した。

なお、参列者に記念品（吉備団子）を贈った。

*春 1,560箱
*秋 150箱

・旧岡山陸軍墓地彼岸祭
九月と三月に催行され、理事長が参列した。

・全国戦没者追悼式（コロナ禍のため、参列断念）
・戦没者遺族慰霊研修事業（中止）

・「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝事業（中止）
・沖縄平和祈願慰霊大行進への参加者派遣（中止）

・慰霊友好親善事業及び遺骨帰還事業、政府及び日本遺族会主催の戦跡慰霊巡拝事業への参加者派遣及び参加促進（硫黄島除き）中止

2 処遇改善運動の推進

岡山県遺族代表者大会や全国遺族大会を通じて、県や国に要望活動を行った。

・第十一回特別弔慰金について、請求漏れのないように、県や各遺族会等と連携し、関係遺族への指導・広報に努めた。

3 組織の充実強化

・女性部研修会
遺族諸問題に対する理解を深め、部員相互の親睦を図るため、十二月七、八日の日程で実施した。

・合同研修会（中止）

・「県遺族通信」の新規発行
遺族会活動の広報は重要であることから、年2回発行。

・中国・四国ブロック遺族会議（延期）
・高齢者の福祉充実に関する事業

*百歳長寿の祝い 8名
*一人暮らし妻慰問 20名
・岡山平和祈念館
*遺影 7,700件
*遺品 500件

4 各種会議

*入館者数 1,094人
・常任理事会 3回
・理事会 4回
・評議員会 3回
・監査会 1回
・女性部会議 1回
・女性部幹事会 1回
・女性部正副部長会議 1回

第十一回特別弔慰金の請求期限（令和5年3月31日）迫る

戦没者の死亡当時のご遺族で、令和2年4月1日時点で遺族年金などを受けられない場合に、特別弔慰金が支給されます。戦没者の子や兄弟姉妹等のうち、支給順位の最も高い方が対象となります。対象の方が複数おられる場合は、代表の方が一人が受け取れます。

■支給内容・額面25万円の記名国債（5年償還）

※支給の対象となる親族の範囲や請求手続きなどに関する詳しい内容は、お住まいの市町村の援護担当課又は岡山県庁保健福祉課援護班（TEL:086-226-7320）へお問い合わせ下さい。

戦没者遺児による慰霊友好親善事業のご案内

一部地域中止決定

日本遺族会では、厚生労働省から補助を受けて、戦没者遺児に対する慰藉の一環として、一度は亡き父等の眠る地に赴き慰霊追悼を行うとともに、現地の方々との友好親善を深めることを目的とした「慰霊友好親善事業」を行っています。

令和4年度も参加者を次とおり募集しています。

■参加資格…戦没者の遺児

■参加費…10万円

■実施地域…旧満州、旧ソ連、中国、ミャンマー・タイ、台湾・バシー海峡、フィリピン、マリアナ諸島、マーシャル・ギルバート諸島、トクツク諸島、パラオ諸島、ボルネオ・マレー半島、西部ニューギニア、東部ニューギニア、ビスマーク諸島、ソロモン諸島

※中止決定…「」の6地域

日程等の詳細やお申込みにつきましては、県連盟事務局（TEL：086・271・7175）まで。

戦没者遺骨をご遺族の元へ

身元特定のためのDNA鑑定について

厚生労働省では、戦没者遺骨について、遺留品などの手掛かり情報からご遺族が推定できる場合には、ご遺族からの申請に基づいてDNA鑑定を行い、親族関係が判明した場合、ご遺骨をご遺族に返還しています。

具体的には、戦没者遺骨を収容できた地域（検体が採取できたご遺骨がある地域）を対象に申請を受け付け、厚生労働省保管資料や申請された死亡場所等の情報に基づき、DNA鑑定を実施しています。

■対象地域…硫黄島、インド・インドネシア（西部ニューギニア含む）、沖縄、樺太・千島（占守島）、旧ソ連等（旧ソ連、モンゴル）、タイ、中部太平洋地域（ウエーク島、ギルバート諸島（タラワ）、ツバル、トラツク諸島、パラオ諸島（ペリリュー島など）、マーシャル諸島、マリアナ諸島（グアム島、サイパン島、テニアン島）、メレヨン島）、東部ニューギニア、ソロモン諸島、ビスマーク・ソロモン諸

島（ガダルカナル島、ニューブリテン島、ブーゲンビル島など）、フィリピン、ミャンマー（ビルマ）※令和4年3月末時点の状況

■申請者…戦没者の配偶者、子、父母、孫、兄弟姉妹、又は甥（おい）、姪（めい）等

■費用…DNA鑑定料は全額国が負担（申請書郵送料等は除く）します。

申請方法、提出先など、詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。か、同省社会・援護局事業課 戦没者遺骨鑑定推進室（直通電話：03・3595・2219）へお問い合わせ下さい。

「平和の礎」への追加刻銘について

沖縄県糸満市にある「平和の礎（いしじ）」は、沖縄戦で亡くなられた方の慰霊と世界の恒久平和祈念のため建立され、亡くなられた方の氏名が刻銘されています。

現在も追加刻銘や修正などが行われていますので、ご遺族の方で刻銘等を希望される場合は、県連盟事務局（TEL：086・271・7175）までお申し出下さい。

女性部の奉仕活動紹介

県連盟女性部では、毎月6日に県護国神社に集まり、正式参拝をしたのち、いさお会館、平和祈念館、待合所等の清掃、花生け、プラントの手入れなどの奉仕活動、そして「いさお会館」で研修を行っています。

7月の活動は、七夕の時期ということ、護国神社にお供えする七夕の短冊作りも行いました。部員の皆さんが思い思いに願い事を書いて、願いが成就するよう拝殿前の笹に取り付けました。



今年、ロシアのウクライナ侵攻があったことから、平和を願う短冊が多く見受けられました。

倉敷護國神社春の慰霊祭

倉敷市遺族連合会（会長・岡本忠）は、旧倉敷をはじめとする計16学区出身の3、416柱の英霊に、感謝の誠を捧げ慰霊顕彰する「倉敷護國神社春の慰霊祭」を4月21日に阿智神社境内で執り行いました。



今年にはコロナ禍のため、各学区の会長、女性部長のみの参列となりましたが、境内には新調したのぼりが賑々しくはためき、戦没者をお慰めしているように感じられました。

西大寺の慰霊巡拝事業

西大寺遺族連合会（会長・川崎敬）は、4月25日に川東

方面（吉井川の東）の慰霊巡拝を行いました。

同会の役員5人が西大寺観音院に集合し、西大寺地区にはじまり、太伯、幸島、朝日、大宮、長沼、豊の6地区の慰霊塔や忠魂碑を巡拝しました。各地区では、地元の遺族の皆さんがお花や線香、ろうそくなどを用意してください、皆で英霊のご冥福と恒久平和の実現をお祈りしました。（西大寺観音院内の忠霊塔）



旧九段会館の建替え

新名称「九段会館テラス」

日本遺族会が国から貸与を受けていた旧九段会館（東京都千代田区）を建て替える旧九段会館建替えプロジェクト「九段会館テラス」が、貴重な歴史的建造物を一部保存復原し、

去る7月に竣工しました。

日本遺族会事務局は、新築建物の四階部分の靖国神社、日本武道館を望む眺望の良い濠側に配置され、事務室・展示室・交流スペース等として供される予定で、10月1日に移転することとなっています。



岡山県戦没者慰霊祭

秋季は規模縮小開催

春季慰霊祭は、五月五日、県護國神社でコロナ感染対策を講じた上で、3年ぶりに通常開催されました。岡山県副知事をはじめとする多くのご来賓と県下各地の遺族など約六百人の参列者が、戦没者のご冥福と恒久平和の実現を祈りました。

十月五日開催予定の秋季慰霊祭は、コロナ禍のため規模縮小して開催されます。翌六日県護

國神社の秋季慰霊大祭も同様に催行されることとなっています。

遺族会の動き

〔令和4年9月〕

12日 日本遺族会創立75周年記念式典（東京）

20日 岡山陸軍墓地秋季彼岸祭（岡山市津高）

28日 県連盟常任理事会（平和祈念館）

〔令和4年10月〕

5日 県戦没者秋季慰霊祭（県護國神社）

6日 県護國神社秋季慰霊大祭（県護國神社）

28日 県連盟理事会（県連盟大会議室）

〔令和4年11月〕

9、10日 「岡山の塔」戦没者追悼式／沖繩戦跡慰霊巡拝事業（沖繩）

26日 岡山県遺族連盟創立75周年記念式典・岡山県遺族代表者大会（岡山市立市民文化ホール）

【編集後記】

今回は、情報提供いただいた遺族連合会の慰霊行事を紹介させていただきます。行事やトピックス等の情報提供をお待ちしております。（増本）